

2025年度「学生による学期末の授業アンケート」の実施について（提案）

2025（令和7）年3月7日
学修支援・教育開発センター会議

学生による授業アンケートは、学生が授業を振り返り、教員がその結果を授業改善に活かすことを目的として実施している。しかし、アンケートの実施時期が授業の最終回に近い時期では、学生は受講期間中に授業改善やフィードバックを受ける機会が得られず、回答率低下の一因となっていると考えられる。

2025年度の授業アンケートについては、学生の受講期間中に授業改善や効果的なフィードバックに活用できるよう、アンケートの実施開始時期をこれまでの14週目以降から10週目以降（クォーター科目は7週目以降から6週目以降）に変更することとし、下記のとおり実施する。

記

1. 実施目的・方針

- ① 学生が学期（クォーター）ごとの自身の授業に対する取り組みを振り返りながら記録することによって学修活動を伸長・改善するための学修支援の一環として実施する。
- ② 学生の回答結果を用いて、教員が個々の授業改善活動に活用する。また、各教学主体が集計結果を組織的な教育改善活動に活用するための教育改善活動支援の一環として実施する。
- ③ 学生の回答結果はアセスメントプランに基づき、大学全体レベル（全学）学部・学科レベル（学士課程）において、学修成果・教育成果の把握・可視化を行い、検証・改善するための指標として活用する。
- ④ 「学生による学期末の授業アンケート」は、成績評価などの学生個人に関わる評価や、授業評価などの教員個人に関わる評価のために実施・活用しない。

2. 実施期間

アンケートの結果をもとに授業改善や学生へフィードバックする機会を設けることができるよう、以下の期間で実施する。

対象学期	アンケート実施期間	実施時期
第1 クォーター	6～8 週目	5/14-6/10
第1 学期（前期）	10～15 週目および試験期間	6/12-8/5
第2 クォーター	6～8 週目	7/10-8/5
サマーセッション	サマーセッション①及び②の期間	8/26-9/8
第3 クォーター	6～8 週目	10/24-11/29
第2 学期（後期）	10～15 週目および試験期間	11/24-1/26
第4 クォーター	6～8 週目	12/22-1/26

3. 実施対象科目

- ① 各教学主体が展開する講義科目
- ② 演習・実習等の科目や研究科の科目については、各教学主体での判断に基づき実施するため別途確認を依頼する。

4. 設問内容

設問は①全学共通項目②教学主体設定項目③教員個人設定項目で構成する。

- ① 全学共通項目：別紙「学生による学期末の授業アンケート 設問項目（案）」
- ② 教学主体設定項目：各教学主体の検討結果に基づき設定
- ③ 教員個人設定項目：授業担当教員が学生に直接指示

※各教学主体が展開するオンライン授業科目については、別途、自己点検のための授業アンケートの実施について提案予定である。

5. 実施方法および集計結果の報告

- manaba course上で実施する。
- 回答結果は、学生には自身の回答のみが表示され、教員には自身の担当科目の回答結果（学生の個人名は表示されない）が表示される。
- 集計は、教学企画部にて全学及び教学主体（学部・学科・専攻等单位）ごとに行い、結果を報告書にまとめ学修支援・教育開発センター会議において報告するほか、学修支援・教育開発センターのホームページに掲載する（学内者のみアクセス可）。

6. 周知方法

① 教学企画部における周知

- ポータルサイトへの掲載および学内掲示等
- 実施期間前の告知
- 学生及び授業担当教員向けの案内
- 未回答学生への督促連絡

② 授業担当教員による周知

- クォーターは6週目、学期は10週目以降の授業終了時間前に5分程度アンケート回答のための時間を設け、受検を促すように依頼する。
- 授業中に回答できなかった学生には、授業後に回答するように周知を依頼する。

なお、授業担当教員に対して「『学生による学期末の授業アンケート』の活用に関するアンケート」を併せて実施し、授業担当教員が活用しやすいアンケート設計となるように検討・改善を行う。

7. 学生へのフィードバック

アンケート結果を踏まえて学生へのフィードバックを実施することにより、学生の学習意欲の向上とアンケート回答率の向上が期待されることから、授業担当教員から受講学生に対してアンケートへの回答の呼びかけとともに最終回までにフィードバック実施することを推奨する。

また、次年度のシラバスにアンケート結果を適宜反映するなど、授業改善への活用を促進する。

8. 実施までのスケジュール

実施時期	内 容
2025/3/7(本日)	<学修支援・教育開発センター会議> 学期末の授業アンケートの実施について提案
4月上旬	教学主体に以下4点の確認・検討依頼 ①全学共通設問項目の確認 ②実施対象科目単位の検討 ③教学主体設定項目の検討 ④実施対象科目データの確認 回答期日（予定）：4/25（金）
5月中旬	<学修支援・教育開発センター会議> 各教学主体の検討結果を報告
5/14-9/8	アンケート実施期間 (第1学期（前期）・第1クォーター・第2クォーター・サマーセッション)
9月中旬	<学修支援・教育開発センター会議> 第1学期（前期）・第1クォーター・第2クォーター・サマーセッション 結果報告
9月下旬	教学主体に以下4点について追加有無の確認 ①全学共通設問項目の確認 ②実施対象科目単位の検討 ③教学主体設定項目の検討 ④実施対象科目データの確認 回答期日（予定）：10/17（金）
10/24-1/26	アンケート実施 (第2学期（後期）・第3クォーター・第4クォーター 結果報告)
3月初旬	<学修支援・教育開発センター会議> 第2学期（後期）・第3クォーター・第4クォーター 結果報告

9. 添付資料

- ① 2025年度学年暦
- ② 学生による学期末の授業アンケート 設問項目（案）

以 上

学生による学期末の授業アンケート 設問項目

【全学共通項目】

全学として把握しておくべき項目として、出席状況や学習時間に関する項目（選択式）、学習成果やカリキュラムポリシーと個々の授業の関係を検証するための項目（選択式）、学生が自身の学修を記録するための項目（記述式）の5問を設定する。

Q1 1回の授業に対して、平均してどのくらい授業外学習（自主学習（事前・事後学習を含む）・課題学習など）を行いましたか。

- ① 4時間以上 ② 3時間以上4時間未満 ③ 2時間以上3時間未満
④ 1時間以上2時間未満 ⑤ 30分以上1時間未満 ⑥ 30分未満
⑦ しなかった

Q2 この授業のシラバスに示されている「到達目標（目的・ねらい）」を、どの程度達成できたと思いますか。

- ① S（90～100%達成） ② A（80～89%達成） ③ B（70～79%達成）
④ C（60～69%達成） ⑤ D（59%以下）

Q3 この授業はシラバスにそって計画的にすすめられていましたか。

- ① 強くそう思う ② そう思う ③ どちらでもない ④ そう思わない
⑤ 全くそう思わない ⑥ 回答できない

Q4 この授業に対して、意欲的に取り組めたと思いますか。

- ① 強くそう思う ② そう思う ③ どちらでもない ④ そう思わない
⑤ 全くそう思わない ⑥ 回答できない

Q5 この授業に対する取り組みを振り返り、記入してください。（記述式）

【開講責任組織設定項目】（各開講責任組織で設定）

開講責任組織の実施対象科目単位に基づき、必要な場合に設定することができる。全学共通項目で内容的に充足する場合は設定する必要はない。

最大3問（選択式2問〔選択肢は最大7つまで〕、記述式1問）まで設定することが可能である。
但し、外部評価等の関係上、上記上限を超えて設定する必要がある場合は、この限りではない。

Q6 （選択式） 各開講責任組織で設定

Q7 （選択式） 各開講責任組織で設定

Q8 （記述式） 各開講責任組織で設定

【教員個人設定項目】

最大2問（選択式1問〔選択肢は最大7つまで〕、記述式1問）まで設定することが可能である。

※学生の回答画面には以下のように表示される。

※設定する場合は、授業アンケート実施期間前に、受講生に対して設問を周知（アンケート内容の配布や当該科目のmanaba course上での指示等）する必要がある。

Q9 「担当教員から事前に指示があった場合は回答してください」（選択式）

- ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

Q10 「担当教員から事前に指示があった場合は記入してください」（記述式）

以上